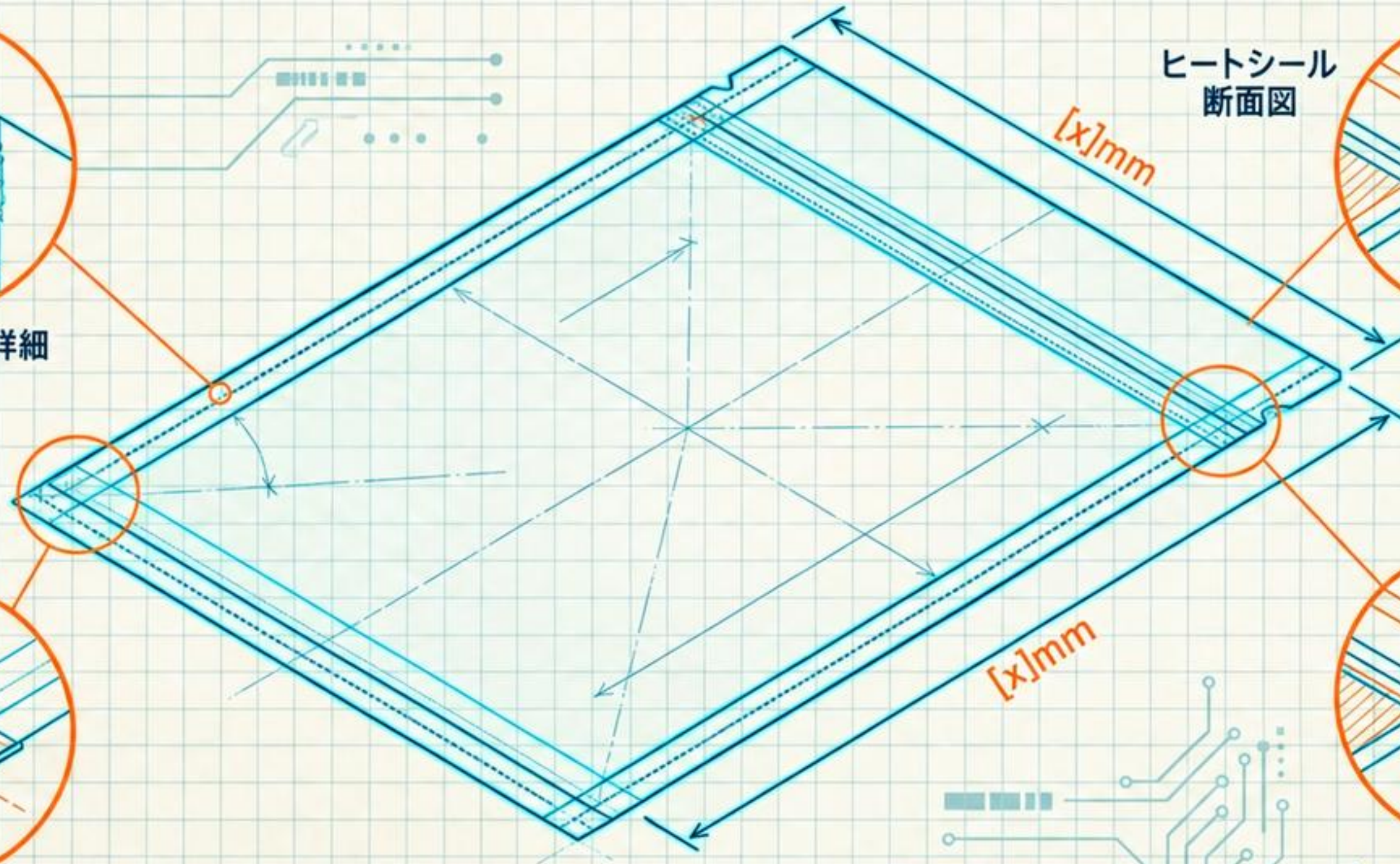
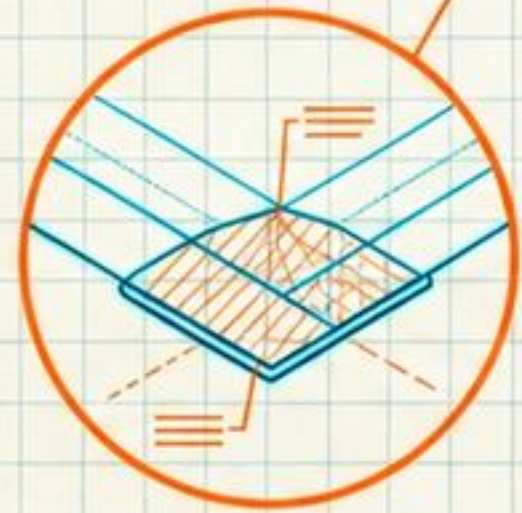


カスタムフラットパウチ：調達設計図

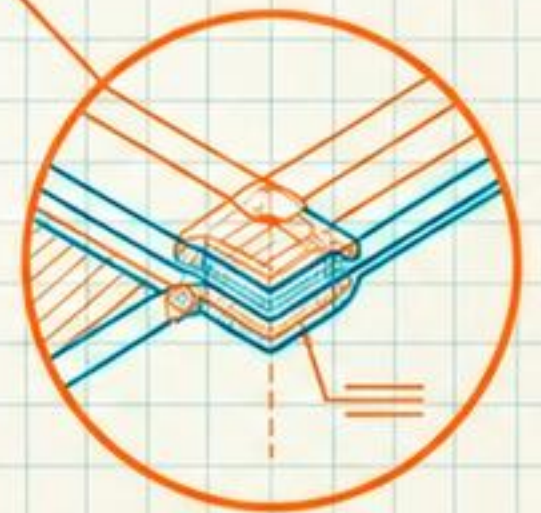
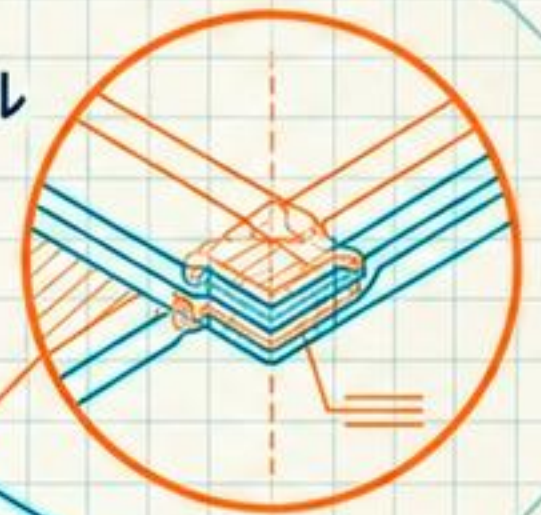
軟包装を仕様化し、見積依頼（RFQ）を使いこなすためのバイヤー向けガイド。



ティアノッチ詳細



ヒートシール
断面図



ヒートシール断面図

包装コンセプトを見積可能な仕様へ変換する



構造プロファイルでフラットパウチカテゴリーを定義する

フラットパウチ (対象)	スタンドアップパウチ (対比)	巾着袋 (対比)	硬質カートン (対比)
			
表裏面を持つシール包装で、固有の奥行きは限定的、内容物に密着します。	ガセット付き自立底部で定義。棚で自立し、かさばる容量を保持し、繰り返し取り出せます。	ヒートシール／接着シールではなく ギャザーコードのクロージャーで定義されます。	内容物に合わせるのではなく 固定された形状で定義されます。

用途にフォーマットを合わせる

書類スリーブ



アクセサリパウチ



サンプル小袋



化粧品パケット



ハードウェアキット



食品関連パウチ



すべてのフラットパウチが
自動的に適しているわけではありません：



液体



粉末



真空処理



熱曝露



鮮度保持



食品への直接
接触

これらには特定のエンジニアリングが必要です

構造解剖と調達用語

フラット寸法・充
填前の 外寸。

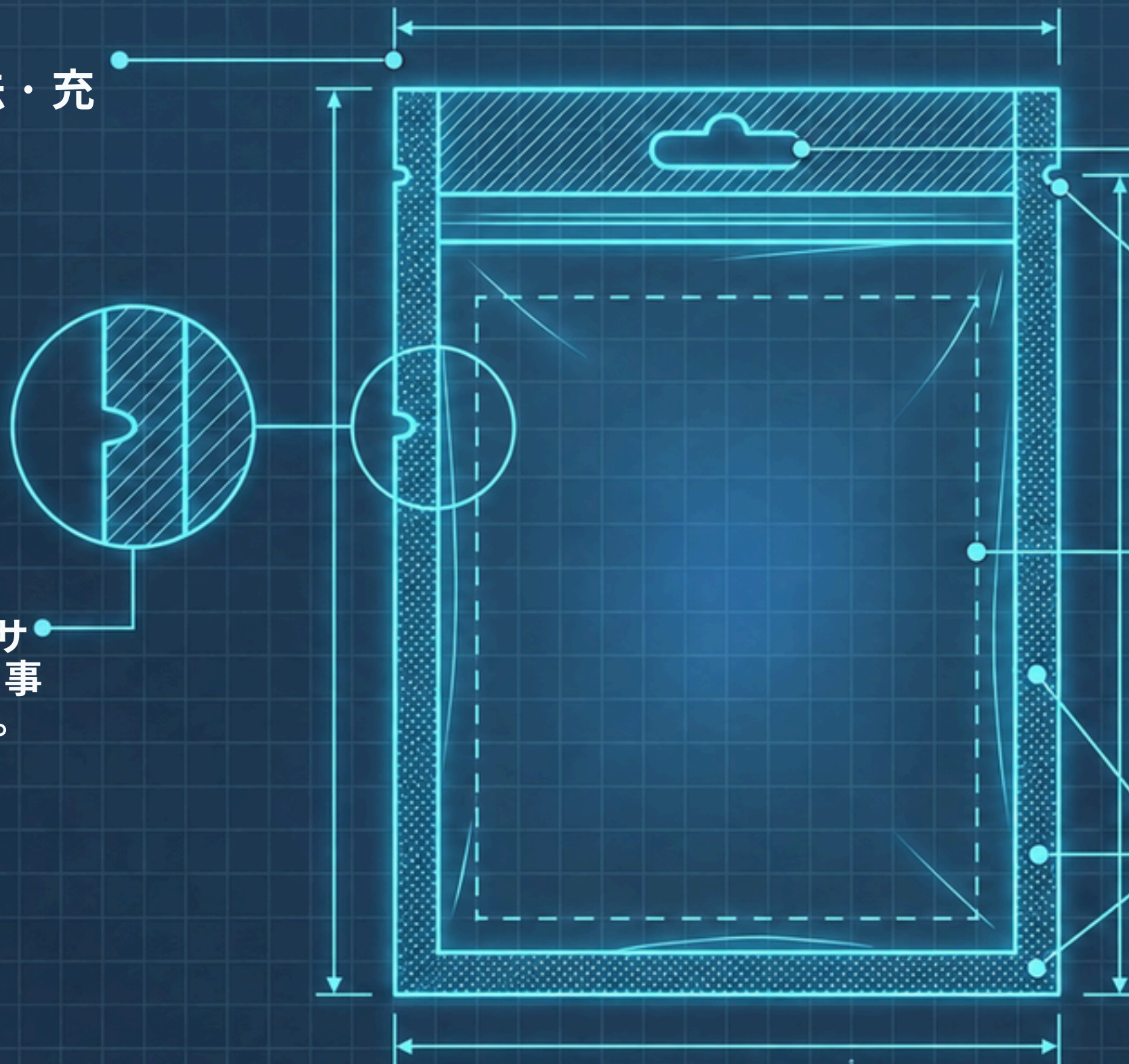
ティアノッチ・サ
イドシール上の 事
前カットノッチ。

吊り下げ穴 ソンブレロ
型または円形の 小売用
切り抜き。

開口側 想定する充填ルー
ト。

完成寸法 充填後の 容積寸
法。

シール領域 閉鎖に必
要な 周縁ゾーン。



形状と機能：美観と性能を分離する

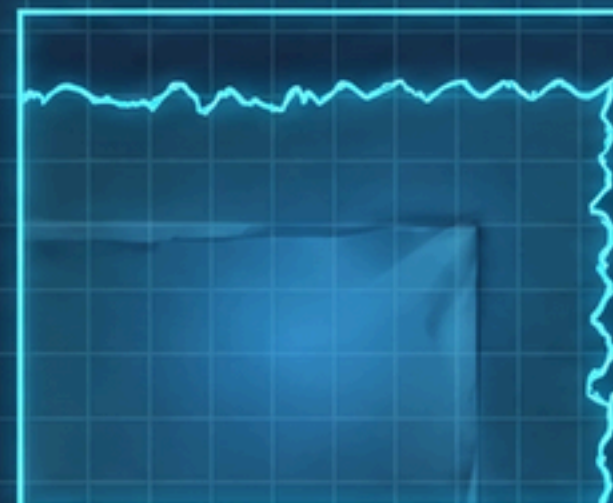


透明ウィンドウ



バリアソリューション

外観の選択（透明度、不透明度、ウィンドウ、メタリック感）だけでは環境保護を保証しません。



ヒートシール端部



改ざん防止または漏れ防止

標準シールは、特定のエンジニアリングなしに漏れ防止や改ざん防止を自動的に保証するものではありません。

望む視覚効果と機能要件を区別します。重要な性能要件にはサンプルと試験のレビューが必要です。

アートワークと情報アーキテクチャを設計する

コピーを明瞭に保つ シール、折り、トリム、クロー
ジャーゾーンを避ける。

・印刷不可領域 透明ウィンドウや技術的
切り抜き用の 指定された空白ゾーン。

コピーを明瞭に保つ シール、折り、トリム、クロー
ジャーゾーンを避ける。

製品側の面

安全印刷ゾーン・可変情報および承認済みの
規制／成分コピーを 精密に配置。

外向きの面

梱包中に分離しておく必要があるアートワークのバージョンを明確に定義してください。（免責：パウチブリーフは適合承認を構成しません）。

物理的な製品制約をプロファイリングする

内容物プロファイル



寸法 & 重量



鋭い
エッジ



湿気への
曝露



油への 曝
露



臭気 プロ
ファイル



温度



方法



望ましいヘッ
ドスペース

パウチの役割

- 外側スリーブ
- 一次包装
- 小売ディスプレイユニット
- 出荷オーガナイザー

パウチのユーザー体験（UX）を定義する



引き裂いて開く
事前カットノッ
チから引き離
す。



カットして開く
工具による介
入が必要。



再封 かみ合わせ機構
またはスライダー。



吊り下げ 小
売ディスプレイ
用の吊り
下げ。



シールスリーブ 受領
時に 破壊的に開封。

サプライチェーンの論理と梱包物流

到着時の状態

開いた状態で出荷
(充填準備済み)



成形済み
(構造化)



充填済み (契約製造済み)



インサートと一緒にまとめる



数量 サイズ、アートワーク、構造ごとに記載する必要があります
(1つの合計数量ではない)

束仕様 束あたりの数量と特定カートン識別。

環境 清浄度の期待値と仕向地条件。

警告：次の場合、生産計画は大きく異なる可能性があります
バージョン、ウィンドウ、クロージャール、特殊梱包を混在させる

RFQ実行チェックリスト [パート1：構造とビジュアル]

ステップ1：用途プロファイル

内容物、充填方法、温度、想定用途を特定します。

ステップ2：寸法ジオメトリ

フラット寸法と完成寸法、開口側、想定シールコンセプトを記載します。

ステップ3：フォーマット確認

は除外されます。

ステップ4：ビジュアルアーキテクチャ

透明部分、不透明部分、ウィンドウ、色、印刷要件など具体的な視覚要件を特定します。

RFQ実行チェックリスト [パート2：機能と適合性]



ステップ5：インタラクション要件

開封、再封、吊り下げ、ラベリングの具体的要件を記載します。



ステップ6：リスクフラグ

液体、油、粉末、鋭いエッジ、食品接触、その他の適合性懸念を明示します。



ステップ7：バージョン管理

最終アートワークと、バージョン／SKUごとの正確な数量を提示します。



ステップ8：検証要件

重要な材料または性能要件について、サンプルと試験レビューを依頼します。

ワークフローが包装の選択を決める



~~外観だけ~~

決定要因ではない

カスタムフラットパウチは運用の現実に基づいて選択する必要があります。形状は機能に従います。

アクション：このブリーフでプロセスを開始しますが、構造適合性、アートワーク配置、梱包、商業条件は、正式な見積、アートワーク、材料レビューを通じてのみ最終決定してください。

技術的制限と適合性パラメータ

注記と許容差

ブリーフの範囲	保証対象外	必須の次のステップ
この文書は仕様化を支援しますが、最終的な商業的または技術的承認にはなりません。	このブリーフを利用しても、以下を独自に確認することはできません： バリア性能、シール完全性、直接接触の安全性、漏れ防止、改ざん防止、賞味期限、認証、材料グレード、価格、最低発注数量、またはリードタイムの主張。	重要な表面、材料、性能、または適合性要件は、メーカーによる二次的なサンプルおよび試験レビューを必然的に必要とします。